

興亞青年の意氣軒昂
勤勞報國學生隊へ
勇躍本學から

護國團 遂に解散
谷山丘上夕陽を浴びて
悲壯太田團長の宣言

軍教十五周年記念
武装學生を御親閲
光榮の本學代表者

中日に目覺し
日蓮門下

北支國の爲戦線!!
休暇中における本學健忘者
前副校長 稻垣 友經氏
「北支國の爲戦線!!」
「北支國の爲戦線!!」
「北支國の爲戦線!!」

兵隊さんよ有難う
激 白衣勇士を慰問

御苦勞様でした
興亞青年勤勞報國隊歸る
貴重なる體驗を胸に

布教、教育、法式等
更改刷新成るか
本宗教團審議會の

滿蒙の本



立正大学と 学徒出陣



立正大学史料編纂室

此の門を潜る事、九星霜、此の間歴史は支那事変より大東亞戦争と変轉推移し、學業短縮より學徒の徴兵延期撤廃と成り、遂に學徒出陣となる。昭和十八年假卒業の名のもと、日の丸を肩に祖國の危機を救はんと決意も固く出陣したので有った。

※1944 [昭和19] 年卒業アルバムに書かれた一文



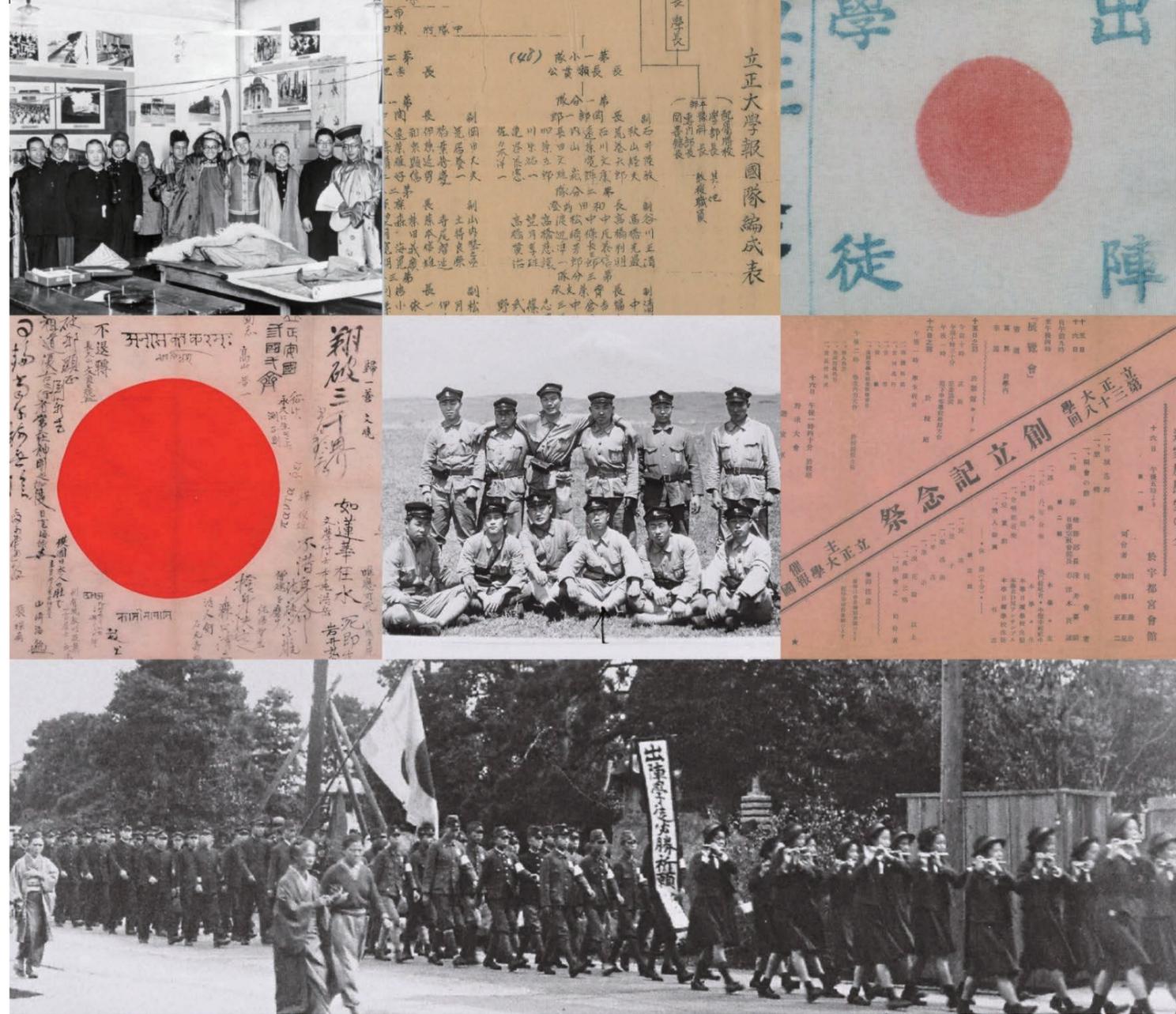
1924[大正13]年5月17日、大学令による認可を受けて立正大学が設立しました。1928[昭和3]年には、日蓮宗大学林設立25周年、大学令による昇格5周年を祝い、記念祭が盛大に執り行われました。1931 [昭和6] 年からは校舎や講堂、学生控室、柔剣道場、学生寮などが次々と新築落成するなど、教育と施設の充実が図られました。

ところがその年、関東軍が満州鉄道の線路を爆破した柳条湖事件に端を発した、満州事変と呼ばれる日中の武力紛争が起こります。1937 [昭和12] 年には日中戦争、1941 [昭和16] 年には太平洋戦争が勃発し、終結に至るまで実に15年もの歳月を要しました。

この戦時下で多くの教育機関が影響を受けることとなり、立正大学もその例外ではありませんでした。

1943 [昭和18] 年、兵員の不足を受けて學徒に認められていた徴兵猶予が停止となり、国内の高等教育機関に在籍する満20歳に達した文科系の学生は在学途中で徴兵され、出征することとなりました。同年9月、立正大学でも繰り上げ卒業式が行われ、多くの学生が戦地へと向かったのです。

軍事教練、勤労奉仕、疎開や慰問……戦争は、当時の大学、教職員や学生に何をもたらしたのか。戦時下の姿を知り、改めて戦争がどのような意味を持っていたのかを考えることは、立正大学史を学ぶうえで重要かつ貴重な機会となるでしょう。



【史料寄贈のお願い】

立正大学史料編纂室は、2014 [平成26] 年4月に開設されました。大学の貴重な記録を残すべく、大学史に関する史料の調査・収集・整理・保存を行うとともに、その利用・公開にも努めております。

このたび、學徒出陣ならびに學徒動員など戦争関係史料について収集を行うことといたしました。ご学友の皆様より戦時下の大学の姿を伝える貴重な記録史料をご寄贈いただければ幸いです。まずは史料編纂室までお問い合わせください。

立正大学史料編纂室

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16(4号館1階)

TEL: 03-3492-2690 FAX: 03-5487-3339

e-mail: archives@ris.ac.jp

※このリーフレットは、山岡文堂氏寄贈史料、星野勲温氏所蔵史料、ならびに大学史料編纂室所蔵史料より作成しました。